

# GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

## 1. 早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

|    |    |             |
|----|----|-------------|
| a. | 分類 | 産業競争力基盤強化商品 |
|    | 対象 | グリーンスチール    |

## 2. 具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

|      |   |
|------|---|
| a.   | グリーンスチール  |
| 対象行動 | 宣言対象製品の調達・購買  |
| 概要   | 当社グループが手掛ける戸建住宅・集合住宅において、当社の基準を満たすグリーンスチールを積極的に調達することで環境負荷低減を図ります。サプライチェーン全体での環境負荷削減に向け、サプライヤーと共同で技術革新を促進し、安定的かつ持続可能なグリーンスチール供給体制の構築を支援します。 |

## 3. サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

## 4. 温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

|                   |  |
|-------------------|--|
| a.                | グリーンスチール   |
| 削減対象              | Scope 3  |
| 目標年度              | 2030年度   |
| 基準年度              | 2017年度   |
| 目標削減率             | 35%  |
| 削減目標における選択対象の位置づけ | グリーンスチールを一定量採用することは、カテゴリ1の排出削減を実現し、スコープ3において、2017年度比で排出削減率35%(2030年度目標)に直接的に寄与します。 |

## 5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

|                  |  |
|------------------|--|
| a.               | グリーンスチール   |
| 目標年度             | 2030年度   |
| 定量的目標            | 30%（重量比率）  |
| 選択対象に関する定量的目標の概要 | 2030年度までに、当社グループが手掛ける戸建住宅・集合住宅においてグリーンスチールの調達比率を重量比で30%以上に引き上げることを目標に、主要なサプライヤーと連携してサプライチェーン全体の環境負荷軽減とカーボンニュートラルへの貢献を強化していきます。<br>※購入量はグリーンスチール価格の動向等を考慮しながら流動的に検討していく予定です |

## 6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

|      |     |
|------|-----|
| 適用範囲 | 子会社 |
|------|-----|

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2025/1/17

旭化成ホームズ株式会社  
サステナビリティ企画推進部 部長 武藤 一巳 購買・生産技術部 部長 高山 英之